

第3学年 社会科 指導計画・評価規準

江戸川区立一之江小学校

単元名	1.わたしのまち みんなのまち（オリエンテーション）			教科書のページ	p. 6～7
配当時数	1 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	(1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・何があるかな。どのような人がいるかな。何をしているのかな。 p. 6～7	1	①教科書のイラストを見ながら，まちの様子について知っていることや気づいたことを出し合う。 ・一軒家，マンション，デパート，商店街など色々な建物がある。 ・大きな通りや，細くてくねくねした道がある。 ・鉄道の駅には，たくさんの人が集まっている。 ・さまざまな種類の車が走っている。 ・郵便配達中の人や，消火訓練をしている人がいる ・さまざまな人が，さまざまなことをしている。	[思判表] 発言・絵地図
めあて わたしたちのまちは，どのような様子なのでしょうか。			

小単元名	○学校のまわり			教科書のページ	p. 8～13
配当時数	3 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	(1) ア-(7) (イ), イ-(7)

小単元の目標		学校のまわりの様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで学校のまわりの様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域の様子を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・身近な地域の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、身近な地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、身近な地域の様子を理解している。
	思考・判断・表現	・身近な地域の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見だし、身近な地域の様子について考え 表現している。 ・場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連づけてりして考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・身近な地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 学校の東西南北		★他教科との関連：理科	
・高いところから、学校のまわりの様子をかんさつしてみましょう。 p. 8～9	1	①高いところから学校のまわりの様子をかんさつして、気づいたことを発表し合う。 ・南には公園や地下鉄の駅がある。 ・学校の北側には公園がある。 ・駅のそばに郵便局がある。 ②絵地図にまとめる。 ・絵地図に四方位があると説明しやすい。	【思判表】 絵地図
(2) くわしい地図を見てみると		★他教科との関連：算数	
・先生の地図を見て、気づいたことを話し合ひましょう。 p. 10～11	1	①地図を見て気づいたことを話し合う。 ・決まった地図記号を使うとだれでもわかる。 ・広い道路は地図でも太く書いてある。場所によって道路のはばがちがう。 ・寺の地図記号が集まっている場所がある。 ・くらしはどのように変わってきたのだろうか。 ・地図から土地の様子がわかる。	【知技】 発言・ノート

(3) 学校のまわりのたて物			
・学校のまわりのたて物について調べてみましょう。 p. 12～13	1	①学校のまわりにはどのような建物があるか話し合う。 ・公民館，消防署，交番がある。 ・みんなが使う建物や場所を公共施設という。 ・神社や寺，店，銭湯など古くからある建物がある。 ②学校のまわりの航空写真を見て話し合う。 ・公園の北側には海がある。 ・高い建物が集まる場所と低い家が集まる場所がある。 ・高速道路はどこまで続いているのだろう。 ・福岡市全体はどのような様子なのだろう。	[知技] 発言・ノート

小単元名	1. 市の様子			教科書のページ	p. 14～33
配当時数	12 時間	活動時期	4～6 月	学習指導要領の内容	(1) ア-(7) (イ), イ-(7)

小単元の目標		市の様子について、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べ、まとめることで市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、市の様子を理解している。
	思考・判断・表現	・都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見だし、市の様子について考え 表現している。 ・場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連づけてりして考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・市の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 空から見て			
・つかむ 空から市の様子をとった写真を見て、気づいたことを話し合しましょう。 p. 14～15	1	①航空写真を見て、気づいたことや、市の施設や様子でわかっていることを発表し合う。 ・海の方にまちが広がっている。 ・高速道路や鉄道がある。 ・山(緑)や島がある。 ・まちには高いビルや大きな駅がある。 ・海のそばにも建物がたくさんある。	[思判表] 発言
(2) 市の地図を見て			
・つかむ わたしたちの市はどこにあり、また、どのようなところがあるか話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 16～17	1	①市の地図や写真を見て、知っている場所を紹介し合う。 ・天神駅の近くに福岡市役所がある。 ・博多港のまわり ・油山のぼくじょう ・福岡城のあと ②教科書の地図や地図帳で、市の形や位置を確認する。 ・福岡市はおもしろい形をしている。 ・福岡市は、福岡県の中で西側にある。 ・たくさんの市や町に接している。	[思判表] 発言・ノート

		・市には7つの区がある。 ・市にはいろいろな場所があり，そこで人々が生活している。	
		学習問題 わたしたちの市は，どのような様子なのでしょうか。	
(3) 学習の進め方		★他教科との関連：国語	
・学習問題をつくり，学習の進め方をかくにんしよう。 p. 18～19	1	①小単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。 ②学習問題について，予想を立て，実際に見学したり，インターネットやガイドブック，写真や地図，他校への手紙などで調査したりして，市の様子を調べる計画を立てる。 <調べること> ・土地の高さや広がり ・土地の使われ方 ・交通と人の様子 ・公共施設 ・古くから残る建物	【思判表】 発言・ノート
(4) 市の土地の高さや広がり			
・調べる 福岡市の土地の高さや広がり，どのようにになっているのでしょうか。 p. 20～21	1	①調べてわかったことを発表し合う。 ・山のほうとまちのほうでは様子が全然違う。 ・低い土地にまちが広がっている。 ・海岸や島がある。 ・那珂川という川が流れている。 ②地図で地図記号を確認しながら，調べてわかったことや，考えたことを話し合う。 ・市の南の山のほうは土地が高い。 ・低いところには家や店が多い。 ・島の南側に家や店があるようだ。	【知技】 発言・ノート
(5) 市の土地の使われ方			
・調べる 福岡市の土地は，どのように使われているのでしょうか。 p. 22～23	1	①調べてわかったことを発表し合う。 ・高い建物はまとまって建っている。 ・埋立地には工場や大きな建物が多い。 ・山には牧場がつくられている。 ②地図で地図記号を確認しながら，調べてわかったことや，考えたことを話し合う。	【知技】 発言・ノート

		・港の海岸線は船をとめやすいようにまっすぐになっている。 ・店が多く高い建物が目立つところは大きな駅の近くにまとまっている。 ・家や店の多いところは市の中央と西に広がり，市の西側には田や畑が多い。	
(6)市の交通の様子			
・調べる 福岡市の交通は，どのように広がっているのでしょうか。 p. 24～25	1	①調べてわかったことを発表し合う。 ・博多駅から新幹線に乗ることができて，駅前には大きなバスターミナルがある。 ・車で高速道路を走っていると，港に大きな船がとまっているの見える。 ・福岡市には空港もあって飛行機に乗れる。 ②地図で地図記号を確認しながら，調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・海岸線に沿って鉄道や高速道路が通っている。 ・博多港や福岡空港から外国に行くことができる。 ・高速道路や地下鉄も通り，仕事などで市の中心に行くにも便利になっている。	[知技] 発言・ノート
(7)市の公共しせつ			
・調べる 福岡市の公共しせつはどこにあり，どのようなはたらきをしているのでしょうか。 p. 26～27	1	①調べてわかったことを発表し合う。 ・科学館，博物館なども福岡市の公共施設であることがわかった。 ・市役所では市民の暮らしに関わる仕事をしている。 ・災害時の避難場所も教えてくれる。 ②地図で地図記号を確認しながら，調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・地図地図記号を見ると，多くの人が行きやすいように，鉄道に沿って公共施設があることがわかる。 ・警察署，消防署，図書館がたくさんある。 ・市にはたくさんの公共施設がある。	[知技] 発言・ノート

(8)市に古くからのこるたて物			
・調べる 福岡市にのこる古いたて物には、どのようなものがあるのでしょうか。 p. 28～29	1	①調べてわかったことを発表し合う。 ・櫛田神社は博多祇園山笠のお祭りの出発地となっている。外国から観光客もくる。 ・赤煉瓦文化館は外国の影響を受けている。 ・福岡城は 400 年以上前に築かれた。 ・古くから残る建物や地区にはいわれがある。 ②地図で地図記号を確認しながら、調べてわかったことをもとに、考えたことを話し合う。 ・神社や寺は博多区に多くあり、博多町家ふるさと館には昔のくらしの展示がある。 ・地図記号はお城や神社の鳥居の形に似ているからわかりやすい。	[知技] 発言・ノート
(9) (10)市のとく色やよさをまとめよう			
・まとめる 調べたことをもとに、市の様子をまとめてみましょう。 p. 30～31	2	①これまでに調べたことをもとに福岡市の特色やよさについて話し合う。 ・山、海、川があって自然が豊か。 ・交通が広がり、にぎやかで、外国にも行ける。 ・公共施設がたくさんある。 ②話し合ったことを紹介地図にまとめる。 ・住宅が多い所、緑が多い所、田畑が多い所で色分けする。 ・福岡市にはたくさんのじまんできるよさがある。	[知技] 発言・ノート [思判表] 発言・ノート
(11) (12)カードを使って考えをつたえ合う			
・いかす 学習したことをもとに、市の場所によるちがいをいかして、「こんなときどうする」を考えてみましょう。 p. 32～33	2	①学習してきたことを生かして、「こんなときどうする」カードをもとに地図を使って考えを伝える。 ・外国人のお客さんを案内する。 ・パン屋さんを開く。 ・友達に福岡市を案内する。 ・災害時の避難場所をさがす。 ②発表を聞いて考えのよいところを伝え合う。 ・調べたことをもとにわかりやすく伝えることができた。	[思判表] 発言・カード [態度] 発言・カード

単元名	1. はたらく人とわたしたちの暮らし (オリエンテーション)			教科書の ページ	p. 36～37
配当時数	1 時間	活動時期	6 月	学習指導要 領の内容	(2) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・わたしたちのくらすまちには、 どのような仕事をしている人た ちがいるでしょうか。 p. 36～37	1	①私たちのまちの働く人につい て、どんな仕事をしている人 がいるか話し合う。 ・市の西側に多い田や畑では、 米や野菜をつくっている人た ちがいた。 ・市の北側には工場が多かっ た。働いている人がたくさん いると思う。 ・通学路にあるスーパーマーケ ットでは、いつもたくさんの 人が働いている。	[思判表] 発言
めあて わたしたちのまちではたらく人の仕事の様子 や、仕事とわたしたちの生活とのつながりを調べてみま しょう。			

小単元名	1. 農家の仕事			教科書のページ	p. 38～51
配当時数	11 時間	活動時期	6～9 月	学習指導要領の内容	(2) ア～(7) (ウ), イ～(7)

小単元の目標		地域に見られる農家の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、農家の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・農家の仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接なかわりをもって行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	・農家の仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見だし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え 表現している。 ・生産の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 市でつくられるやさいやくだもの		★他教科との関連：算数	
・つかむ わたしたちの市では、どのような作物がつけられているのでしょうか。 p. 38～39	1	①地域でつくられている作物を探し、つけられている場所や生産額を調べ、気づいたことを話し合う。 ・市では、いちごやトマト、大根が多くつけられていることが棒グラフからわかる。 ・地図からいろいろな野菜や果物がつけられていることがわかった。	[思判表] ノート・発言
(2) (3) 特産品のあまおう			
・つかむ いちごづくりについて、気づいたことやぎもん思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 40～41	2	①いちごづくりについて知っていることを出し合う。 ・あまおうはおいしい。 ・元岡地区でつけられている。 ・畑やビニールハウスでつけられている。 ②あまおうについて疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。 ・農家の人はどんな仕事をしているのだろう。 ・なぜ夜にビニールハウスに明かりがついているのか。 ・おいしくするための工夫がありそうだ。	[思判表] ノート

		学習問題 農家では、あまおうをおいしく、たくさんつくるために、どのような仕事をしているのでしょうか。	
(4) あまおうづくりの1年間			
・調べる 農家では、1年間どのように仕事をしているのでしょうか。 p. 42～43	1	①「まなび方コーナー」から見学の仕方を確認する。 ・観察の仕方 ・質問の仕方 ・記録の仕方 ②あまおうを育てる1年間の仕事について農家の方に話を聞き、わかったことや考えたことを話し合う。 ・収穫のときには、もう次の年の苗を育てている。 ・寒くなる11月ごろから、ビニールハウスで電照をしたり、だんぼうをつけたりしている。 ・季節の変化に合わせて作業している。	[知技] ノート
(5) (6) あまおうの畑で見つけたよ			
・調べる あまおうはどのようにつくられているのでしょうか。 p. 44～45	2	①疑問に思ったことを整理して農家の方に質問し、わかったことをメモする。 ・土づくり ・ビニールハウス ・苗づくり ・大きな冷蔵庫 ・みつばち	[知技] ノート
(7) (8) くふうがつまったあまおうづくり		★他教科との関連：理科	
・調べる あまおうづくりには、どのようにくふうや努力があるのでしょうか。 p. 46～47	2	①あまおうづくり農家である浜地さんの畑を見学したり話を聞いたりして、疑問に思ったこと、気づいたことをまとめる。 ・たなの上でさいばいする(高設栽培)。 ・なえを大切に育てる。 ・みつばちなどの生き物の力をかりる。 ・ビニールハウスを使うことで、冬でも収穫できる。	[知技] ノート
(9) (10) いよいよしゅうかく			
・調べる わたしたちの生活とあまおうにはどのようなかわりがあるのでしょうか。 p. 48～49	2	①あまおうのしゅうかくと出荷について調べる。 ・一つずつ手作業でしゅうかくする。 ・パック詰めも手作業で行う。 ・取り入れ後は市の中央市場に送り、その後、スーパーマーケットなどに送られる。 ・地域でとれた作物が外国に送られることもある。	[知技] ノート

(11)せんでんシールを考える			
・まとめる これまでの学習をふり返し、あまおうをせんでんするシールの案を考えましょう。 p. 50～51	1	①調べた内容をもとに、あまおうを宣伝するシールの案を考える。 ・1年間、たくさんの手間をかけてつくっていた。 ・おいしくつくるための工夫もたくさんあった。 ②調べてきたことをもとに、学習問題についてわかったことや考えたことをノートに書く。 ・いちごづくりの工夫 ・季節に合わせた育て方 ・つくった標語は、みんなに伝えたい。 ・取り入れ、送り先	【思判表】せんでんシール・ノート 【態度】せんでんシール・ノート

小単元名	1. 工場の仕事			教科書のページ	p. 52～65
配当時数	11 時間	活動時期	6～9 月	学習指導要領の内容	(2) ア-(7) (ウ), イ-(7)

小単元の目標		地域にみられる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接なかわりをもって行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	・工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見だし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え 表現している。 ・工場の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 福岡市のおみやげ ★他教科との関連：算数			
・つかむ わたしたちの市の工場では、どのようなものをつくっているのでしょうか。 p. 52～53	1	①地域の工場で作られているものを探し、工場の分布やグラフから、気づいたことを話し合う。 ・工場が集まっている地域がある。 ・食べ物や飲み物をつくる工場が多い。	[思判表] ノート・発言
(2) (3) 見学の計画を立てる			
・つかむ おかし工場について気づいたことやぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 54～55	2	①お菓子や工場について話し合う。 ・おみやげに買っていくことが多い。 ・福岡市やその近くにしか店がないそうだ。 ②お菓子の生産について疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。 ・工場ではどんな仕事をしているのだろう。 ・おいしくするための工夫がありそうだ。	[思判表] ノート・発言
		学習問題 工場では、おかしをおいしく、たくさんつくるために、どのような仕事をしているのでしょうか。	
		③調べたいこと、疑問に思った	

		ことをもとに学習計画を立て、見学カードに記入する。 ・見てくること ・聞いてくること	
(4) おかしができるまで		★他教科との関連：算数	
・調べる おかしはどのようにつくられているのでしょうか。 p. 56～57	1	①お菓子工場を見学し、疑問に思ったこと、気づいたことをまとめる。 ・生地づくり、あんづくり ・形をつくる ・焼き上げる ・確認 ・袋詰め、箱詰め	[知技] ノート
(5) (6) おかしの原料			
・調べる おかしの原料は、どこから運ばれてきているのでしょうか。 p. 58～59	2	①お菓子の原料について、工場の方にインタビューし、ノートや見学メモにまとめる。 ・原料は、手に入るもので一番よいものを、国内だけでなく外国からも取り寄せている。	[知技] ノート
(7) (8) はたらく人のくふう		★他教科との関連：理科	
・調べる おかし工場では、どのようにくふうをしているのでしょうか。 p. 60～61	2	①疑問に思ったことを整理して工場の方に質問し、わかったことをメモする。 ・温度や水分管理の工夫、焼き具合の確認。 ・衛生面での工夫。	[知技] ノート
(9) (10) 地いきとのかかわり			
・調べる 工場は、地いきとどのようにかかわっているのでしょうか。 p. 62～63	2	①お菓子の出荷や、働く人がどこから来ているのかについて調べる。 ・電話やインターネットで注文を受けて、全国へ発送している。 ・工場で働く人は、市内だけでなくほかの市や町から、地下鉄やバス、車などで通勤している。	[知技] ノート
(11) せんでんシールを考える			
・まとめる これまでの学習をふり返り、おかしをせんでんするシールの案を考えましょう。 p. 64～65	1	①調べた内容をもとに、お菓子を宣伝するシールの案を考える。 ・衛生面に気をつけて、人がする作業と機械がする作業を使い分けていた。 ・おいしくつくるための工夫もたくさんあった。 ②調べたことをもとに、学習問題についてわかったことや考えたことをノートに書く。 ・衛生面 ・よい原料の確保 ・おいしい作り方 ・出荷、送り先	[思判表] せんでんシール・ノート [態度] せんでんシール・ノート

小単元名	2. 店ではたらく人			教科書のページ	p. 66～89
配当時数	15 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容	(2) ア-(イ) (ウ), イ-(イ)

小単元の目標		地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や文などのまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。
	思考・判断・表現	・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見だし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ・地域に見られる販売の仕事と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) よく行く店			
・つかむ わたしたちは、どんな店で買い物をしているのでしょうか。 p. 66～67	1	①普段、家の人とよく行く店を紹介しあう。 ・スーパーマーケットによく行くよ。品物がたくさんある。 ・商店街の八百屋さんに行くよ。時々おまけしてくれる。 ②よく行く店を白地図にまとめる。 ・遠いところにも近いところにも店は多くある。 ③よく行く店を家の人に聞いてくるとい見通しをもつ。	[思判表] ノート
(2) (3) 買い物調べ			
・つかむ 家的人是、なぜその店に行くのでしょうか。 p. 68～69	2	①家の人に質問するカードをつくる。 ・よく行く店はどこか。 ・なぜその店に行くのか。 ②買い物調べの結果をまとめる。 ・スーパーマーケットに買い物に行く家が多い。	[思判表] ノート・グラフ、表
(4) スーパーマーケットのよいところ			
・つかむ スーパーマーケットに買い物に行く人が多いのはなぜなのか話し合っ、学習問題を	1	①スーパーマーケットに行く人が多い理由を発表し、学習問題を	[思判表] 発言

つくり，学習計画を立てましよう。 p. 70～71		・品物を見つけやすくしているのではないか。 ・野菜や果物はとれる場所や季節を考えて売っているのではないか。 ・駐車場を広くしているのではないか。 ・ちらしがあるのでどんなものが安いかわかりやすい。	
		学習問題　スーパーマーケットではたらく人は，多くの人々に買い物をしてもらうために，どのようにくふうをしているのでしょうか。	
		②学習問題について予想し，学習計画を立てる。 ＜調べること＞ ・品物を見つけやすくしたり，品物のよさを伝えたりするためのくふう ・働く人の仕事 ・品物の並べ方 ・お客さんが来るためのくふう ・売り上げを上げるためのくふう ＜調べ方＞ ・見学・インタビュー ・メモの取り方 ＜まとめ方＞ ・かべ新聞にまとめる。	
(5) (6) スーパーマーケットの様子			
・調べる　スーパーマーケットの売り場は，どのようになっているのでしょうか。 p. 72～75	2	①スーパーマーケットで見学，もしくは教科書の挿絵を見て気づいたことを話し合う。 ＜観察の視点＞ ・買えるものとその場所 ・買いたいものの見つけやすさ ・値段 ・買い物のしやすさ ・働く人の様子など	【知技】 ノート・発言
(7) (8) 店で発見			
・調べる　スーパーマーケットの売り場には，どのようなひみつがあるのでしょうか。 p. 76～77	2	①売り場を見学して，わかったことを発表する。 ・看板—どこに何があるかがわかる。品物の値段や特徴が大きく書かれている。 ・コンシェルジュ—お客様係で何でも聞いてくださいと言っていた。	【知技】 ノート
(9) (10) はたらく人にインタビュー			
・調べる　スーパーマーケットではたらく人は，どのような仕事をしているのでしょうか。 p. 78～79	2	①スーパーマーケットで働く人にインタビューしたり，買う人の願いを考えたりして，スーパーマーケットで働く人の	【知技】 ノート

		仕事について調べる。 <スーパーマーケットで働く人の仕事> ・足りないものを注文したり並べたりする。 ・見やすい場所に並べる。 ・食べ方を伝える。 ・売り場の外(バックヤード)の仕事 ・くだものを切る。きかいで肉を加工する。そうざいをパックする。など ・お客さんのニーズに合わせて対応している。	
(11) 品物はどこから		★他教科との関連：外国語	
・調べる たくさんの品物は、どこから運ばれてくるのでしょうか。 p. 80～81	1	①スーパーマーケットの品物の産地を調べ、他地域とのつながりを考え、話し合う。 ・野菜や果物などに表示されている産地を見ればわかる。 ・店で売られている商品には、ほかの市や県、外国などの他地域でつくられたものもある。 ・売り場で働く人は、旬のものを仕入れるようにしている。 ・他地域から来た商品が、わたしたちの日々の生活を支えている。	[知技] ノート
(12) たくさんのお客さんが来るひみつ			
・調べる たくさんのお客さんが来るのは、なぜでしょうか。 p. 82～83	1	①お客さんにインタビューして、今まで調べたこと以外のスーパーマーケットのよさを明らかにするとともに、お客さんがスーパーマーケットを利用する理由を考える。 ・つくった人の写真がある一産地がはっきりしているの、安心 ・旬のものーおいしく食べられる時期のものを売っている ・広い駐車場ー遠くから来るお客さん ゆっくり買い物できる ・お弁当ー種類が多い、夜遅くでも買い物ができる	[知技] ノート
(13) まちの人とともに			
・調べる スーパーマーケットは、品物を売ることのほかに、どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 84～85	1	①スーパーマーケットは品物を売ること以外にどのような取り組みをしているかを調べ、特色を明らかにする。 <環境を守るために> ・リサイクルコーナー牛乳パック、食品トレー	[知技] ノート

		<だれもが利用しやすいように> ・車いすのかし出し ・お年よりやしょうがいのある人専用の駐車場 ・コンシェルジュ-お客さんの相談をする→地域貢献	
(14) (15) かべ新聞にまとめる			
・まとめる スーパーマーケットではたらく人のくふうについてかべ新聞にまとめましょう。 p. 86～87	2	①調べたことを振り返りながら、学習問題についてまとめる。 <働く人の工夫> ・場所や値段の表示-見やすくしてほしい ・仕入れ-産地、旬、品質のよさ ・駐車場-車の利用、たくさんの買い物 ・品揃え-さまざまな買い物 ・おいしさ-出来立てのものを並べる 焼き立てパン ・コンシェルジュ-買い物のお手伝いや相談 ・車いすなど-障がいのある人が買い物ができるように ・地域貢献-リサイクルコーナー ②お客さんの願いと、働く人の工夫の結び付きについて考える。	【思判表】 かべ新聞 【態度】 発言

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) ていあん文を書く			
・いかす これまでの学習をもとに、市ではたらく人の仕事についてていあん文を書きましょう。 p. 90～91	1	①これまで学習してきたことをふり振り返り、農業や工場、商店がよりよいものになるよう考えを話し合い、提案文を書く。 <あまおう> ・給食の献立に入れるとよい ・あまおうの豆知識を書いたしおりを配る <おかし> ・おかしまつりを開く ・子どもがおかしの包装紙を考える。 <スーパーマーケット> ・スーパーマーケットに生産者を呼ぶ。 ・スーパーマーケットで売っている食材の料理の仕方を知らせる。	【思判表】 ていあん文 【態度】 ていあん文・発言

単元名	3. くらしを守る（オリエンテーション）			教科書のページ	p. 92～93
配当時数	1 時間	活動時期	11 月	学習指導要領の内容	(3) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) くらしの安全を考えよう（オリエンテーション）			
・わたしたちの安全なくらしを守るはたらきについて考えてみましょう。 p. 92～93	1	①新聞やテレビのニュース，自分の体験などを思い出しながら話し合い，安全なくらしをつくるためのしくみや人々の働きに関心をもたせる。 ・火事が起きたときには，消防署からたくさんの人が来て火を消している。 ・夜に警察の人たちが検問をしていた。 ・通学路で駐車違反の取り締まりをしているところを見た。 ・まちには，わたしたちの安全を守るために働いてくれる人がいるから安心して生活できている。	[態度] 発言 [思判表] 発言
めあて わたしたちの安全なくらしを守るために，まちでは，どこでどのような人たちがはたらいているのでしょうか。			

小単元名	1. 火事からくらしを守る			教科書のページ	p. 94～107
配当時数	7 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	(3) ア-(7) (イ), イ-(7)

小単元の目標		火災から地域の人々の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることで関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解するとともに、学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 施設・設備などの配置、消防署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 - 調べたことを地図や文などにまとめ、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	- 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 - 連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え、選択・判断したりして、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 火事が起きたら			
つかむ 火事が起きると、どのような人が、どのようなことをするのでしょくか。 p. 94～95	1	①火事が起きたときのイラストを見て、気づいたことを話し合う。 〈人〉 ・消防士 ・警察官 〈仕事〉 ・消防士が、火を消している。 ・消防士が、消火栓にホースを入れている。 ・警察官が、交通整理をしている。 ・救急車で、けが人を運んでいる。	[思判表] 発言
(2) 火事をふせぐ			
つかむ イラストやグラフを見て、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 96～97	1	①イラストを見て、気づいたことを話し合う。 ・119番の電話から5分で、消防自動車到着している。 ・どうしてこんなに早くかけつけることができるのか。	[思判表] 発言・ノート

		②二つのグラフを見て，火事の数の変化や原因について話し合い，学習問題をつくる。 ・火事の原因はいろいろあるが，火事の数が減っている。 ・どうして火事の数が減ったのか。	
		学習問題 火事が起きたときや火事をふせぐために，だが，どのようなはたらきをしているのでしょうか。	
		③学習問題について予想し，調べること・調べ方・まとめ方を話し合う。 ・消防士の仕事について調べよう。 ・消防署に行って，見学したり話を聞いたりする。 ・火事からわたしたちのくらしを守る人たちの働きについて関係図にまとめる。	
(3) 消防しょへ行こう ★他教科との関連：算数			
・調べる 消防しょの人たちは，どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 98～99	1	①消防士の話を聞いたり，訓練の様子や道具などを観察したりして，わかったことを整理する。 ②消防署で働く人の話を読み，火事からくらしを守る取り組みについて話し合う。 ・できるだけ早く火事の現場にかけつけ，確実に消火できるように訓練している。 ・器具を点検している。 ③消防署や消防士の写真などから，火事に備えてどのような準備をしているかを発表し合う。 ・防火服は，1200度の火に約17秒間たえられる。 ・当番の日は，24時間働く。 ・消防自動車は，火事の場所や大きさによってちがう。	[知技] ノート・カード
(4) 通信指令室とさまざまな人々のはたらき			
・調べる 119 番に電話をかけると，どこにつながり，どこへれんらくが行くのでしょうか。 p. 100～101	1	①火事が起きたときの連絡の流れについて，イラストで調べる。 ・消防署－消防自動車や救急車を出動させる。 ・病院－けが人が運ばれることを伝える。 ・警察署－交通整理をしてもらう。 ・ガス会社，電力会社，水道局－協力してもらう。 ②通信指令室の様子について，	[知技] ノート・図

		働く人の話から調べる。 ・関係機関への連絡をしている。 ・大きな火事の際はほかの市や町にも応援を頼んでいる。	
(5) まちの消防しせつをさがそう			
・調べる わたしたちのまわりには、どのような消防しせつがあるのでしょうか。 p. 102～103	1	①地域にある消防施設を調査して地図に表したり、地図を見てわかったことや考えたことをもとに話し合ったりする。 ・学校には、火災報知施設や防火扉があった。 ・町には、消火栓や防火水槽があった。 ・公園などの広いところは、避難場所になっている。 ・消火栓や避難場所などは、地域に必ずつくるように決められている。 ・住宅には、火災報知器を取り付けることも決められている。 ・消防団の倉庫があった。	[知技] 発言・地図
(6) 地いきの消防団の取り組み			
・調べる 火事が起きたときや火事をふせぐために、地いきではどのような取り組みが行われているのでしょうか。 p. 104～105	1	①消防団の訓練を見学したり消防団員に聞き取りをしたりして、消防団の取り組みについて話し合う。 ・倉庫にある器具を点検している。 ・消火などの訓練をしている。 ・火事、台風、地震などが起きたときに消防署の人たちと協力して、消火や救助の活動を行っている。 ・防火の呼びかけをしている。 ・普段は別の仕事をしている。 ・子ども消防クラブでは、子どもも参加している。	[知技] 発言・ノート
(7) 火事からくらしを守る人々のはたらき			
・まとめる 関係図をつくり、火事からくらしを守る人々のはたらきについてまとめましょう。 p. 106～107	1	①これまでに調べた火事からくらしを守る人々の活動を、関係図にまとめる。 ・消防士は、日頃から訓練をして、火事が起きたときのために備えている。 ・さまざまな人々が協力している。 ・消防団のように、地域の人々の働きも大切である。 ②「火事をふせぐためには、どうしたらよいか」について話し合う。 ・消防団のさまざまな取り組み	[思判表] 発言・関係図 [態度] 発言・関係図

		に参加する。 ・身のまわりでも，火事を防ぐためにさまざまなことに気をつけていくようにする。	
--	--	--	--

小単元名	2. 事故や事件からくらしを守る			教科書のページ	p. 108～119
配当時数	6 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要領の内容	(3) ア-(7) (イ), イ-(7)

小単元の目標		事故や事件から地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることで関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 - 調べたことを地図や文などにまとめ、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	- 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 - 連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え、選択・判断したりして、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	- 地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 - 学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 身近な地いきのあぶない場所			
・つかむ 身近な地いきのあぶない場所について話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 108～109	1	①イラストを見ながら、身近な地域でどのような場所が危ないかを発表し合う。 - 通学路の踏切。踏切が降りるときに侵入していて危ない。 - 人気のない通りがある。子供だけでは危険。 - 交番がある。 ②グラフを見て、事故と事件の数が増えていることを確かめ、どうしてそのように変化しているかを話し合う。 - 事故と事件は、減ってきている。 - 事故と事件が減っているのは、いろいろな人の協力があったからだ。	[思判表] 発言
		学習問題 事故や事件からわたしたちの安全を守るために、だれが、どのようなはたらきをしているのでしょうか。	

		③学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方を話し合う。 ・警察官の仕事について調べよう。 ・警察署や交番で話を聞こう。 ・安全を守るためのはたらきを表にまとめる。	
(2) けいさつの仕事			
・調べる けいさつしょの人たちは、どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 110～111	1	①地域社会で見かける警察の仕事調べる。 ・交通安全の呼びかけをしているパトカーを見たことがある。 ・交番では、道案内や落とし物の相談をしていました。 ②交番で働く警察官の話を読み、安全を守る取り組みについて話し合う。 ・交通事故を減らすためには、法やきまりを守ることが大切だ。	[知技] 仕事メモ
(3) 事故が起きたら			
・調べる 事故が起きたとき、さまざまな人がすぐに関わることができるのは、なぜでしょうか。 p. 112～113	1	①交通事故現場で働く人のイラストから、事故がどのように処理されるかを発表し合う。 ・いろいろな人が協力している。 ・救急車や消防自動車も現場にかけつけている。 ・どうしてすぐに事故の現場に関わることができるのだろうか。 ②事故が起きたときの連絡の流れについて、イラストから調べる。 ・火事の時と同じように、連絡はまず通信指令室に届く。 ・連絡を受けた関係機関は、直ちに事故現場に向かっている。	[知技] ノート
(4) 安全なまちづくり			
・調べる 地いきの人たちは、まちの安全を守るためにどのような活動をしているのでしょうか。 p. 114～115	1	①こども110番の家など学校周辺における安全を守る活動について調べる。 ・こども110番のステッカーを見たことがあるよ。 ・登下校のとき、地域の人がパトロールしているところを見たことがある。 ②「わたしたちのまちの安全を守るしくみ」の図から、地域の人々が安全を守る活動について話し合う。	[知技] 発言

		・地域の安全を守っているのは、警察だけでなく、お店の人や地域の人もある。 ・こども110番のほかに、地域にはどのような取り組みがあるのだろうか。	
(5) 地いきでの取り組み			
・調べる 地いきの人たちは、安全なまちづくりのために、どのような取り組みをしているのでしょうか。 p. 116～117	1	①町会や商店街などの地域社会における安全を守る取り組みについて調べる。 ・防犯パトロールに参加したことがある。 ・わたしの家では、PTAの見守り活動に協力しています。 ・安全な場所を書き入れた安全マップをつくっている。 ・町会や商店街など、さまざまな人たちがいっしょになって、安全なまちづくりを進めている。	[知技] ノート
(6) 安全を守る人の活動をまとめる			
・まとめる まちの安全を守る人について表をつくり、事故や事件からくらしを守るはたらきについてまとめましょう。 p. 118～119	1	①これまでに調べた安全を守る人々の活動を、表にまとめる。 ・警察官が見回りをしていた。 ・地域の方は、協力して安全なまちづくりを進めている。 ・自分も協力できることがあったら、協力したいと思います。 ②「事故や事件をへらすには、どうしたらよいか」について話し合う。	[思判表] 表・意見文 [態度] 表・意見文

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 自分たちにもできること			
・いかす わたしたちのくらしを守るために、自分たちにもできることを考えてみましょう。 p. 120～121	1	①学習してきたことを振り返り、自分たちにもできることはないか話し合う。 ・消防署のホームページに「火の用心の7つのポイント」があるから、自分もやってみよう。 ・東京交通少年団の取り組みに参加してみよう。 ②わたしたちのくらしを守っていけるようにするための、標語をつくる。 ・「火の用心 主役はいつもわたしたち」 ・つくった標語は、みんなに伝えたい。	[思判表] 標語 [態度] 標語

単元名	4. 市のうつりかわり（オリエンテーション）			教科書のページ	p. 122～123
配当時数	1 時間	活動時期	2 月	学習指導要領の内容	(4) アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・わたしたちのまちの、昔の様子を見てみましょう。 p. 122～123	1	①教科書のイラストを読み取り、今と違うことや変わってきたことを話し合う。 〈おじいさん・おばあさんが子どものころ〉 ・蒸気機関車が走っている。 ・今は見かけない形の車がある。 ・着物を着た人がいる。 ・田んぼが多い。 ・今と違って、港のあたりは砂浜が広がっている。 〈お父さん・お母さんが子どものころ〉 ・新幹線が走っている。 ・道路が整備された。車の数も増えた。 ・高い建物が増えた。学校も大きくなった。 ・砂浜が埋め立てられた。 ・田んぼが減って、家が増えた。 〈今〉 ・高い建物がさらに増えた。 ・駅や港の施設も大きくなった。 ・田んぼや畑はほとんどない。 ・まちの様子は大きく変わっているけれど、神社やお菓子屋さんのように、変わらず残っているところもある。	[思判表] 発言
		めあて わたしたちのまちや人々のくらしは、どのようにかわってきたのか調べてみましょう。	

小単元名	1. 市の様子と人々のくらしのうつりかわり			教科書のページ	p. 124～141
配当時数	10 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容	(4) ア-(7) (イ), イ-(7)

小単元の目標		市の様子の変り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することを通して、市の人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	- 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市や人々の生活の様子を理解している。 - 調べたことを年表や文などにまとめ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。
	思考・判断・表現	- 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見いだし、市や人々の生活の様子について表現している。 - 駅や鉄道、公共施設ができたこと、人口が変化してきたこと、土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり、市の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして、市の人々の様子の変化を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	市の様子の変り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) かわってきた明石駅			
・つかむ 明石駅のまわりは、どのようにかわってきたのでしょうか。 p. 124～125	1	①「70 年から 60 年ほど前」「50 年から 40 年ほど前」「今」の 3 枚の明石駅前の写真をくらべて気づいたことを発表する。 - 写真の色が違う。 - きれいになってきた。 - 高い建物が建ってきた。 - 道路が広がった。 - 鉄道が増えた。 ②「近くに住むおばあさんの話」などから昔の様子についてわかったことを発表する。 - 戦争の空襲でまちは焼けた。 - 戦後に大きな火事があった。 - 頑張って新しいまちをつくった。	[思判表] 発言
(2) かわってきたわたしたちの市			
・つかむ 市の様子の変りかわりについてぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p. 126～127	1	①「70 年から 60 年ほど前の明石市の土地の高さと土地の使われ方」と「今の明石市の土地の高さと土地の使われ方」の地図をくらべて、気づいた	[思判表] 発言

		ことや疑問に思ったことを発表する。 ・家や店が多くなった。 ・土地が広がった。 ・鉄道や工場が増えた。 ・田や畑が減った。 ・市はいつ頃から変わってきたのだろうか。 ・くらしはどのように変わってきたのだろうか。 ②疑問に思ったことをもとにして学習問題をつくる。	
		学習問題 わたしたちの市は、いつごろ、どのようにかわってきたのでしょうか。	
		③学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方について話し合う。 ・交通や土地利用，人口，公共施設，道具の移りかわりについて調べる。 ・博物館や市役所に行って，見学や聞き取り調査をする。 ・市の様子やくらしの移り変わりについて年表にまとめる。	
(3) 道路や鉄道のうつりかわり			
・調べる 市の交通は，どのようにかわってきたのでしょうか。 p. 128～129	1	①「70 年から 60 年ほど前」「50 年から 40 年ほど前」「今」の鉄道や道路の地図をくらべて，交通が整備されてきた様子を調べる。 ・明治時代に明石駅ができた。 ・昭和の初め頃に道路や鉄道が整備された。 ・1970 年頃に高速道路や新幹線ができた。 ②道路や鉄道が整備されることによって，わたしたちの生活はどのように変わってきたのかについて話し合う。 ・車が通りやすくなって便利になった。 ・新幹線ができて早く移動できるようになった。 ・交通が便利になって，家や工場が増えたのではないかな。	[知技] ノート
(4) 土地の使われ方のうつりかわり			
・調べる 市の土地の使われ方は，どのようにかわってきたのでしょうか。 p. 130～131	1	①「70 年から 60 年ほど前」「50 年から 40 年ほど前」「今」の土地の使われ方について調べる。 ・70 年から 60 年ほど前にくらべて，田や畑が減った。	[知技] ノート

		・森林がどんどん減ってきた。 ・50年から40年ほど前から家や店が増えた。 ・海を埋め立てた土地は工場や公園に使われている。 ②土地の使われ方の変化からわかることについて話し合う。 ・家や店が増えたということは、人の数も増えたのではないか。 ・人がたくさん住み、生活するようになって、大きな団地や人口の島がつけられたのではないか。 ・人々が楽しく生活できるように公園がつけられたのではないか。	
(5) 人口のうつりかわり		★他教科との関連：国語	
・調べる 市の人の数は、どのようにかわってきたのでしょうか。 p. 132～133	1	①市の人口の移り変わりのグラフを読み取り、気づいたことや疑問に思ったことを発表する。 ・市の人口は増えている。 ・人口が大きく増える時期がある。 ・なぜ人口が急に増えたのだろうか。 ②人口の変化と土地の移り変わりの資料から、人口が増えた理由について考えたことを話し合う。 ・明石市は、1942年と1951年にまわりの町や村と一緒にになっている。 ・人口の増加と土地の広がりには関係がありそうだ。 ③最近の人口の変化についての資料から、わかったことや考えたことを話し合う。 ・人口の増え方がおだやかになってきた。 ・お年寄りの人数が平成になってから急に増えている。 ・外国の人もしっかり住んでいる。	[知技] ノート
(6) 公共しせつのうつりかわり			
・調べる 市の主な公共しせつは、いつごろできたのでしょうか。 p. 134～135	1	①わたしたちの学校や市の学校はいつ頃できたのかについて調べる。 ・わたしたちの学校は明治時代にできている。 ・市の学校の数が増えている。 ・ため池を埋め立ててつくった学校もあるそうだ。	[知技] ノート

		②どのような公共施設がいつ頃できたのか、調べてわかったことを話し合う。 ・昔に比べて公共施設は増えている。 ・50年ほど前にたくさんつくられている。 ・便利な施設が増えている。 ・公共施設は、だれが、どうやってつくっているのだろうか。	
(7) 道具とくらしのうつりかわり			
・調べる くらしの中の道具は、どのようにかわってきたのでしょうか。 p. 136～137	1	①くらしの道具の移り変わりについて、調べたことを道具年表にまとめ、わかったことを発表する。 ・昔と今の道具は大きな違いがある。 ・昔は電気を使わない道具だった。 ・洗濯機やガスコンロなどの道具は改良されて生活が便利になった。	[知技] ノート
(8) (9) 市のうつりかわりをまとめてみよう			
・まとめる 市のうつりかわりを年表にまとめてみましょう。 p. 138～139	2	①学習問題を確認した上で、これまで調べたことを一つの年表に整理する。 ・駅前の様子、交通、土地の使われ方、人口、公共施設、くらしの道具 ②年表を見ながら時期ごとの変化についてわかったことを話し合う。 ・明石市は70年から60年ほど前に、まわりの市町村が一緒になって土地が広がり、人口も増えた。 ・昭和の初めに道路や鉄道が整備された。 ・50年から40年ほど前に高速道路や新幹線が整備された。 ・新しいくらしの道具が使われるようになり、生活が便利になった。 ・明石市はこれからどのように変わっていくのかな。	[知技] 年表・発表 [思判表] 年表・発表
(10) 市のはってんのために			
・いかす わたしたちの市のこれからについて考えましょう。 p. 140～141	1	①市の発展のための取り組みについて調べる。 ・みんなが住みたい・住みつけたいまちを目指している。 ・天文科学館は市の「たからもの」だね。	[思判表] ポスター・発表 [態度] ポスター・発表

		②学習してきたことを生かしなが ら、これからどのような明 石市になってほしいかを話し 合い、ポスター「みらいの明 石市」にまとめる。 ・子どもやお年寄りが楽しくく らせるまちにしたい。 ・ほかのまちに短い時間で行き 来できる、便利なまちにしたい。 ・体の不自由な人や外国の人も しやすいまちにしたい。 ・明石市の良いところを紹介し て、たくさんの人に集まって 欲しい。	
--	--	---	--